



2015 年 10 月 15 日
富士機械製造株式会社

富士機械製造株式会社が、電子部品装着機（マウンター）の新製品を発表

～拡張型オールインワン装着機「AIMEXⅢc」を 11 月「FUJI 実装技術展 2015」で発表～

富士機械製造株式会社(本社：愛知県知立市、代表取締役社長：曾我 信之、以下 FUJI) は、電子部品装着機(マウンター)の新製品「AIMEXⅢc」(エイメックススリーシー)を開発いたしました。11 月 26 日、27 日に FUJI 本社で開催する「FUJI 実装技術展 2015」にて実機をご覧ください。

■背景

IoT(Internet of Things, モノのインターネット)により、デジタル機器に限らずあらゆる製品がネットワークでつながりつつあります。この IoT に欠かせないのが電子回路基板であり、電子基板の組み立てに幅広く利用されている表面実装技術の中心的装置が電子部品装着機（マウンター）です。電子回路基板の実装工程においては、市場における需要変化に対応した多品種・変種変量生産に加え、高い面積生産性への要求が強まっています。

こうした要望にお応えするため、FUJI は、2012 年 12 月に発表した AIMEX II S のコンセプトを継承し、柔軟性・拡張性に加えて高い面積生産性・操作性を実現した「AIMEXⅢc」を開発いたしました。

■製品の特長

- (1) コンパクト設計
装置サイズは幅 1,280mm x 奥行き 2,346mm と非常にコンパクトで導入しやすいサイズとなっております。
- (2) 多品種生産に最適
部品搭載種数は最大で 130 本と業界トップクラスの搭載数を誇ります。さらにヘキサフィーダを使用することで約 1.5 倍に搭載数を増やすことができ、部品種数の変動に柔軟に対応することが可能です。また DX (ダイナヘッド) を使用することで、0402 部品*から 74mm×74mm 部品まで 1 台で対応することが可能です。
* 0402 部品 : 素子サイズ 0.4mm×0.2mm の電子部品。
- (3) 変種変量生産に対応
実装前に部品の良否判定を行うコプラナリティチェック機能や LCR チェック機能を搭載。変種変量生産においても工程内で品質を作りこむことができます。
基板サイズも 48mm×48mm～508mm×400mm と幅広く、様々な基板種に対応可能です。



(4) 使いやすい機上編集機能

AIMEXⅢcは、12型タッチパネルを採用し操作性が向上しました。
機上でプログラム編集が可能のため、新製品の立ち上げやエラー発生時の対応を迅速に行うことができます。

(5) 生産性の向上

高速ヘッドH24ヘッドにより、スループット37,000CPH*(生産優先モード)、装着精度 $\pm 38\mu\text{m}$ (生産優先モード)を実現。さらに高い面積生産性24,643CPH/m²を誇ります。

また、バッファ機構により基板搬送時間を2.6秒としました。

* CPH : 1時間あたりに装着可能な部品点数。Chip Per Hour。

■今後の展開

「AIMEXⅢc」は2016年150台の出荷を目指し、国内定価は1,730万円より。2015年12月より受注開始します。

今後もFUJIは、世界有数のロボットメーカーとして、生産現場の更なる自動化、スマートファクトリーを目指して製品開発を続けてまいります。

■会社概要

商号 : 富士機械製造株式会社
代表者 : 代表取締役社長 曾我 信之
所在地 : 〒472-8686 愛知県知立市山町茶碓山 19
設立 : 1959年4月
事業内容 : 電子部品組立機ならびに工作機械の製造、販売
資本金 : 5,878百万円
URL : <http://www.fuji.co.jp/>

■本件に関するお問合せ

ハイテック事業本部 営業技術部 今井 美津男 TEL 0566-81-8263